

2018年7月10日

電通、スポーツ産業の活性化に向け青学大と連携 — スポーツと公共をつなぐ専門組織も新設 —

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）は、この度、青山学院大学と「スポーツ分野における教育研究に関する包括協定」を締結しました。

本協定は、「みるスポーツ」と「ささえるスポーツ」に関する教育研究に加え、スポーツを通じた国際交流・地域貢献・地域活性化など、スポーツ文化を振興し、その発展に貢献していくことを目的としています。例えば、「学生が自らの大学を応援する」という文化を醸成するプログラムの研究・開発や、将来的にはスポーツに携わる人材の育成なども行っていきます。

これまで当社は、「スポーツと企業を結ぶスポンサーシップ」や「スポーツとメディアを結ぶ放送権などの販売」を通じてスポーツに携わってきましたが、近年は、大会の誘致活動やスポーツ施設の建設・運営、大学スポーツの振興、地域スポーツ関連業務など「スポーツと公共を結ぶ」役割への期待が広がりをみせています。

そこで当社は、今回のような大学との連携にとどまらず、政府や自治体など公共セクターとの連携をさらに推し進めていくため、7月1日付でスポーツ局内に「パブリックスポーツ課」を新設いたしました。

今後も当社は、全国各地の公共セクターと連携しながら、スポーツ産業全体の活性化に貢献してまいります。

以 上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレートコミュニケーション局 広報部
湊、高松 TEL : 03-6216-8041